

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 ももっ子		
○保護者評価実施期間	令和6年10月15日		令和6年10月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 50人	(回答者数) 47人	
○従業者評価実施期間	令和6年10月15日		令和6年10月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7人	(回答者数) 7人	
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年11月22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・隣接する幼稚園のカリキュラムの予習を療育に取り入れることで、ねらいや課題を明確にして支援が出来る。	・子どもたちが自信を持って活動に取り組めるように、療育での様子を見て個々の支援が必要な部分と関係機関と共有している。	・現在行っているカリキュラムを精査していく。
2	・子どもの発達状態に応じた個別療育と小集団療育を行っている。	・個々の発達段階に合わせて個別の療育プログラムを組み、自分で遊びを選ぶ力、遊びのパリエーションを増やす事、集中力、意欲や自信が獲得できるようにしている。	・個々の発達段階や様子を見て、利用回数を増やす。(週1回→週2回)
3	・平日は基本的なスキルアップ、土曜日は応用的に社会性を育むプログラムになっている。	・土曜日の親子プログラムを取り入れている。 ・異年齢での関わりでお互いに刺激を受けることが出来る。	・ペアレントトレーニングの実施を検討していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・専門的職員の不足。	・言語聴覚士の専門的支援は手厚いが、理学療法士や作業療法士が不在の為、身体面や作業面での専門的支援が弱い。	・言語聴覚士以外の専門人材の配置を検討していく。
2	・契約者数が多く、本来利用を希望している日数に対応出来ない。		・新しい事業所の解説を検討する。
3			